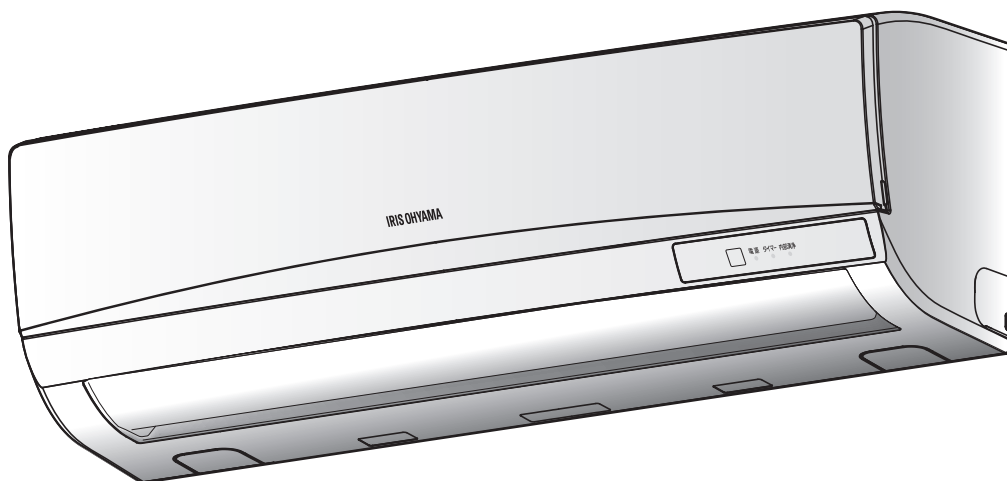


取扱説明書(WEB)

ルームエアコン[室内・家庭用]

室内ユニット 型番:IRR-2225C/IRA-2206R/IRA-2806R/IRA-4006R

室外ユニット 型番:IUF-2225/IRA-2206RZ/IRA-2806RZ/IRA-4006RZ



このたびは、お買い上げいただきまことにありがとうございます。

- ・ 一般家庭用以外でご使用にならないでください。
無償保証の対象外になることがあります。
- ・ この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
- ・ ご使用前に「[安全上の注意 P7](#)」を必ずお読みください。
- ・ WEB マニュアルの使いかたは、「[WEB マニュアルの使いかた P2](#)」をご確認ください。

この商品は海外ではご使用になれません。
FOR USE IN JAPAN ONLY

WEB マニュアルの使いかた

ここでは「WEB マニュアル」の使いかたを案内します。

当サイトは下記のブラウザでの使用を推奨しています。

- ・Microsoft Edge ブラウザ(最新版)
- ・Google Chrome ブラウザ(最新版)

◆WEB マニュアルについて

■スマートフォン



■パソコン



① メニュー一覧/検索 切替ボタン(スマートフォンのみ)

☰ をタップするとメニュー一覧/検索画面が表示されます。

✕ を押すと元の画面に戻ります。

② 製品名、型番

お問い合わせ時には、製品名と型番をご連絡お願いいたします。

③ ページ内リンク

選択すると、ページ内の該当情報が表示されます。

④ 関連ページリンク

選択すると、WEB サイトや WEB マニュアル内の該当ページが表示されます。

⑤ メニュー

選択すると、メニュー一覧が表示されます。検索タブと切り替えて使用します。

⑥ メニューリスト

メニュー一覧を表示させます。

⑦ 検索タブ

選択すると、目的の情報を検索できるようになります。メニュータブと切り替えて使用します。

◆検索について

■スマートフォン



■パソコン



⑧ フリーワード検索

キーワードを入力することで、目的の情報を検索することができます。

⑨ 検索リスト

検索した結果が表示されます。選択すると、WEB マニュアル内の該当ページが表示されます。

- ・ デザインおよび仕様は予告なく変更することがあります。
- ・ Microsoft Edge は Microsoft Corporation の商標です。
- ・ Google Chrome は Google LLC の商標です。

もくじ

ご使用前に..... 7

安全上の注意 -必ずお守りください-..... 7

使用上の注意..... 13

リモコンの確認と乾電池交換方法..... 14

各部のなまえ..... 18

付属品を確認する..... 20

使いかた..... 21

運転モードを設定する..... 21

温度・風量を設定する..... 23

風向調節を設定する..... 24

省エネ運転(エコモード)..... 26

タイマー運転を設定する..... 27

内部清浄モード..... 30

室内ユニット本体から運転操作を行う..... 32

お手入れ..... 33

お手入れ時の注意..... 33

エアフィルター -2 週に 1 回程度-..... 34

室内ユニット表面 -汚れたら-..... 35

前面パネル -汚れたら-..... 36

長期間使用しないときは..... 38

こんなときは.....	40
故障かな？と思ったら.....	40
電源ランプが点滅したら.....	46
アフターサービスとその他の内容.....	47
長期使用製品について.....	47
仕様.....	48
廃棄について.....	50
保証とアフターサービス.....	50
冷媒に関する注意.....	51
お問い合わせ.....	52

ご使用前に

安全上の注意 -必ずお守りください-

最初に、この「安全上の注意」をよくお読みになり、正しくお使いください。

人への危害や、財産への損害を未然に防止するため、必ず守る必要があることを説明しています。

→ [警告 P7](#)

→ [注意 P10](#)

図記号の意味

誤った取り扱いをすることによって生じる内容を、以下のように区分しています。

 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。
 注意	誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり、財産の損害が発生するおそれがある内容を示しています。

お守りいただく内容を、区分して説明しています。

 分解禁止	 禁止	 指示を守る
 めれ手禁止	 電源プラグを抜く	 アース線接続



電源プラグ・電源コードは正しく使う

 めれ手禁止	• めれた手で電源プラグの抜き差しをしない 感電・やけど・けがの原因になります。
 禁止	• 電源コードを束ねて通電しない 過熱してやけど・火災の原因になります。電源コードは、必ずのばして使用してください。 • 電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わない ショートによる火災・感電の原因になります。電源コードが破損したときは、アイリスコール P52（☎ 電話をかける）へお問い合わせください。 • 電源コードを傷付けない • 電源コードをステーブルなどで固定しない 傷付ける、加工する、無理に曲げる、引っ張る、ねじる、重いものを載せる、挟み込むなどしないでください。 電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。

	・ 延長コードは使用しない ・ 電源プラグを抜いてエアコンを停止しない 火災・感電の原因になります。
 必ず実施	・ 電源プラグのほこりは定期的に取り ほこりがたまると、湿気などで絶縁不良になり、火災・感電の原因になります。 ・ 電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込む ショートによる火災・感電の原因になります。 ・ 電源は必ずルームエアコン専用のコンセントに接続する 他と共用のコンセントや古いコンセントは使用しないでください。 火災・感電の原因になります。

設置について

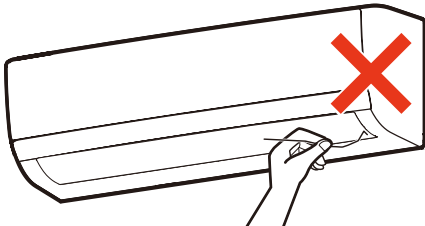
 禁止	・ アース線は、ガス管や水道管、電話線や避雷針のアース線には絶対に接続しない 爆発・火災の原因になります。 ・ 指定の冷媒(R32)以外は使用禁止 本製品は R32 専用です。 指定以外の冷媒を使用すると、故障や破裂、けがなどの原因となります。
 必ず実施	・ 設置・移設はお買い上げの販売店または設置専門業者に依頼する 自分で行うと、火災・破裂・感電・けが・水もれの原因になります。 ・ アース工事は販売店または専門業者に依頼する アースが不完全だと、感電の原因になります。 ・ 可燃性ガスのも漏れるおそれのない場所に、据え付けされていることを確認する 万一ガスが漏れてユニットの周囲にたまると、発火の原因になります。

異常時には

 プラグを抜く	・ 異常時には直ちに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜く 発煙・火災・感電のおそれがあります。 〔異常の例〕 - 内部に水・異物などが入った - 異常な音やにおいがする - 変形したり、ひび割れしたりしている - 電源プラグ・電源コードが異常に熱くなる
---	--

- 電源コードを動かすと、通電したりしなかったりする
 - 触れるとピリピリ電気を感じる
- ➡ 使用を中止し、お買い上げの販売店または[アイリスコール P52](#)(☎ [電話をかける](#))へお問い合わせください。

その他使用時の禁止事項

 禁止	・ 吹出口・吸気口・すき間から物や手を入れない 内部には高速回転するファンや高電圧部があるので、感電やけがの原因になります。 
 禁止	・ 乳幼児や身動きできない方(病気やけが)は単独で使しない 次のような方がご使用になる場合は、お手数でも周りの方が注意してください。 - 乳幼児、お子様、お年寄り、病気の方、身体の不自由な方 - 深酒や睡眠薬を飲まれた方 感電やけが、体調不良の原因になります。
 水ぬれ禁止	・ 室内ユニット本体を水につけたり、本体に水をかけない 火災・感電の原因になります。
 禁止	・ 工具を使った分解掃除や、内部の洗浄は自分で行わない 誤った方法で分解掃除や内部の洗浄を行うと、破損して火災や感電の原因になります。エアコン内部の洗浄は専門の業者に依頼してください。

⚠ 注意

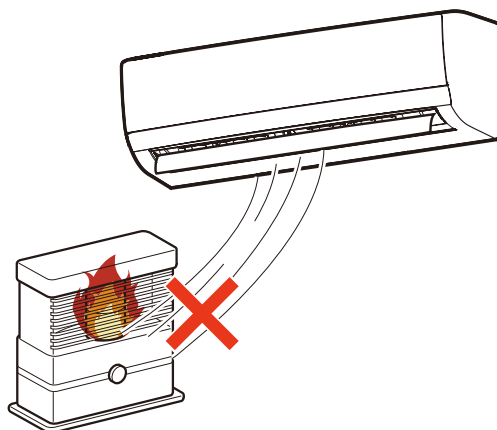
リモコンについての注意

 分解禁止	・ 分解しない 皮膚や衣服を損傷することがあります。
 禁止	・ 金属製の小物類と一緒に携帯・保管しない ショートして液もれや破裂の原因になることがあります。 ・ 指定以外の乾電池は使用しない 過熱・破裂・液もれにより、火災やけが、周囲を汚損する原因になることがあります。 ・ 乾電池は絶対に充電しない 破裂・液もれにより、火災・けが・やけどの原因になります。 ・ 乳幼児の手の届くところに置かない 誤操作による体調悪化、誤飲の原因になります。
 必ず実施	・ 乾電池を入れるときは、極性表示(プラス+とマイナス-の向き)に注意し、説明書の通りに正しく入れる 間違えると、破裂・液もれにより、火災やけが、周囲を汚損する原因になります。 ・ 長期間(1 か月以上) 使用しないときは、リモコンの乾電池を取り外す

使用時の注意事項

 禁止	・ 室内ユニットの下に他の電気製品や家財を置かない 水滴が落ちることがあり、汚損や故障の原因になります。 ・ 室内ユニットの上に物を載せない ・ 室内ユニットに洗濯物などをかけない 落下して、けがや火災の原因になります。また、風の流れをふさぐと、過熱して火災の原因になります。 ・ 吹出口・吸気口を布や紙、ビニール袋でおおったりふさいだりして運転しない ・ 風の流れをさえぎるようなものを周囲に置かない 過熱して火災の原因になります。
 禁止	・ 食品・医薬品・美術品・学術資料の保存、動植物の飼育や栽培など、業務・特殊用途に使用しない 本製品は家庭用として設計されています。業務・特殊用途に使用すると、保存品の劣化、動植物への害、およびエアコンの故障の原因になります。

- ・ 長時間冷風を身体に当てない
- ・ 冷房温度を下げすぎない
特に、小さなお子様やお年寄りには注意してください。体調が悪化したり健康を害する原因になります。
- ・ 動植物に直接風を当てない
害を与えるおそれがあります。
- ・ 風をストーブなどの燃焼器具に向けない
不完全燃焼や炎の飛散を引き起こし、一酸化炭素中毒や火災の原因になります。



- ・ 煙や霧が出るくん煙タイプの殺虫剤を使うときは運転しない
エアコン内部に薬剤成分が蓄積し、その後の運転で放出されて、健康を害するおそれがあります。
殺虫剤の使用後は、十分換気してから運転してください。
- ・ 床にワックスがけをするときは運転しない
エアコン内部にワックス成分が付着し、水もれの原因になります。ワックスがけの後は、十分に換気してから運転してください。



禁止

- ・ 上に乗ったり、物を載せたりしない
落下・転倒によるけがの原因になります。
- ・ 室外ユニットをシートなどでおおったり、周囲に物を置いたりしない
過熱して火災の原因になります。
- ・ 室外ユニットの周囲にごみや落ち葉をためない
小動物が侵入し、漏電や火災の原因になります。



必ず実施

- ・ 燃焼器具と一緒に使う場合は換気する
一酸化炭素中毒の原因になります。
※本製品は、一酸化炭素などの有害物質を除去するものではありません。



必ず実施

- ・ ドレン水(エアコンから発生する水)が確実に排水されていることを確認する
ドレンホース(排水管)は、流れやすいように必ず下り勾配を付けてください。
ドレン水がスムーズに流れないと、水もれや異音(ポコポコ)の原因になります。

 必ず実施	・ 1年に1度は、室外ユニットの設置台などが傷んでいないか確認する 落下・転倒によるけがの原因になります。
---	---

お手入れ時の注意事項

 禁止	・ お手入れのときは、不安定な台に乗らない 転倒してけがの原因になります。 ・ 室内ユニット内部の金属部に触れない けがをするおそれがあります。
 必ず実施	・ 前面パネルやエアフィルターを水洗いしたときは、水気を拭き取って、よく乾かしてから取り付ける 水気が残っていると感電の原因になります。

電源プラグ・電源コードは正しく使う

 プラグを抜く	・ 長期間使わないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く 絶縁低下により、火災・感電の原因になります。 ・ お手入れするときは、必ず運転を停止して、電源プラグを抜く けがの原因になります。 ・ 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず電源プラグを持って引き抜く 電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。
---	---

異常時は

 必ず実施	・ エアコンを運転しても冷えない・暖まらないときは、販売店または修理専門業者に相談する 冷媒がもれているおそれがあります。冷媒自体は無害ですが、室内にもれて、他のガスと混合したり、火気に触れたりすると、有害な成分が発生する原因になります。
---	---

使用上の注意

使用について

- ・ 暖房運転時、室外ユニットに霜が付いた場合は、自動で霜取りを行います。
霜取り運転中は、暖房が停止し、室内ユニットから冷風が出ることがあります。霜が溶けるときに、室外ユニットから湯気や水が発生することがあります。
- ・ 落雷のおそれのあるときは運転を停止し、電源プラグをコンセントから抜いてください。
落雷の程度によっては、故障の原因になります。
- ・ この機器は安全に責任を負う人の監視または指示がない限り、補助を必要とする人(子供を含む)が単独で機器を用いることを意図しておりません。
- ・ この機器で遊ぶことがないように、子供に注意してください。
- ・ 機器の設置は、据付説明書をご確認いただき国の配線規則に従って行ってください。
- ・ エアフィルターが汚れていると室内ユニット内の結露が多くなり水滴が発生しやすくなりますので、エアフィルターを取り外してお掃除してください。
取り外さないと、フィルター上面の掃除ができないため故障の原因となります。

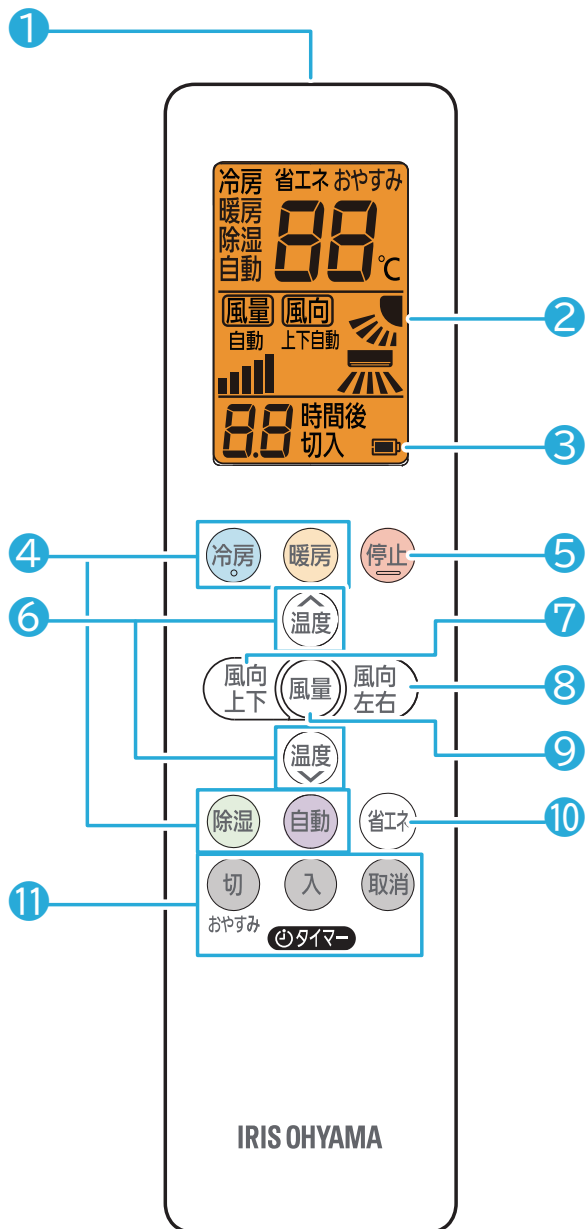
■設置について

- ・ テレビやラジオなどの AV 機器から 1 m 以上離してください。
電波障害の原因になります。

リモコンの確認と乾電池交換方法

→[リモコンホルダー\(付属品\) P16](#)

→[乾電池の交換方法 P16](#)



① 送信部

室内ユニット表示パネルの受信部に向けて操作してください。

② 表示部

運転の状態などを表示します。(図は説明のため、全てを表示しています。)

③ 乾電池残量表示

☐マークが□に変わり点減したら乾電池を交換してください。(→[乾電池の交換方法 P16](#))

④ 運転モードボタン(冷房・暖房・除湿・自動)

選んだモードで運転が始まります。運転中に押すと、選んだモードに切り替わります。(→[運転モードを設定する P21](#))

⑤ 停止ボタン

運転を停止します。(→[運転を停止するには P22](#))

⑥ 温度△／▽ボタン

運転中に設定温度を変更します。

16～30℃の範囲で設定できます。(→[温度・風量を設定する P23](#))

⑦ 風向上下ボタン

運転中にボタンを押すたびに上下フラップの角度が変わります。

風向上下自動にすると、運転モードの違いや部屋の温度により、自動で上下フラップの角度を調節します。(→[風向調節を設定する P24](#))

運転を停止すると上下フラップは閉じます。

⑧ 風向左右ボタン

運転中にボタンを押すたびに左右ルーバーの角度が変わります。スイングにすると、左右ルーバーが動いて左右にまんべんなく風を送ります。(→[風向調節を設定する P24](#))

⑨ 風量ボタン

冷房または暖房運転中に押すと、風量が切り替わります。(→[温度・風量を設定する P23](#))

⑩ 省エネボタン(エコモード)

冷房運転もしくは暖房運転中にボタンを押すと、省エネ(エコモード)運転します。(→[省エネ運転\(エコモード\) P26](#))

⑪ タイマーボタン

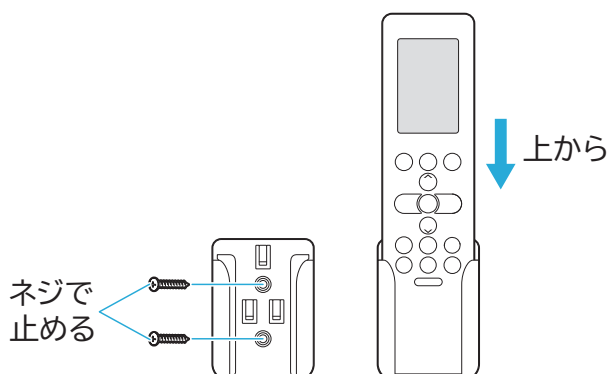
を押すごとに、おやすみタイマーの設定時間が1時間増加し、おやすみタイマーがスタートします。

おやすみタイマー設定中は1時間ごとに設定温度が1℃ずつ変わります。(→[タイマー運転を設定する P27](#))

を押すごとに設定時間が1時間増加し、入タイマーがスタートします。を押すとタイマーは取り消されます。(→[タイマー取り消し P29](#))

— リモコンホルダー(付属品)

リモコンを壁などに取り付けることができます。取り付け位置で信号が受信されることを確認してから取り付けてください。
取り付け後、部屋の環境変化によって受信しないことがあります。



— 乾電池の交換方法

リモコンの表示部に□マークが点灯、もしくは点滅したときは、早めに乾電池を交換してください。(→[乾電池残量表示 P14](#))

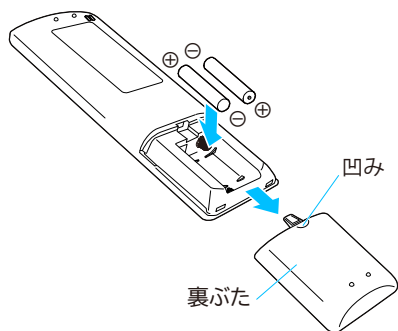
新しい乾電池(単 4 形乾電池×2 本)を用意し交換してください。

裏ぶたを開け、乾電池を入れ替える

1 裏ぶたの凹みを押さえながら下にずらして開ける

古い乾電池を取り出し、 $\oplus$ と $\ominus$ の向きを合わせて、新しい乾電池を入れる

2



3 裏ぶたをしっかりと閉める

— 乾電池について

- ・ 液もれや破裂によるけがや故障を避けるため、長期間使用しないときは、取り出してください。
- ・ 受信しにくくなったり、リモコンの表示が薄くなりましたら、2本同時に新しい単4形乾電池と交換してください。

- ・ 種類や使用状態によって、使用期間が短くなることがあります。
- ・ 同梱されている乾電池は動作確認用ですので早く消耗することがあります。

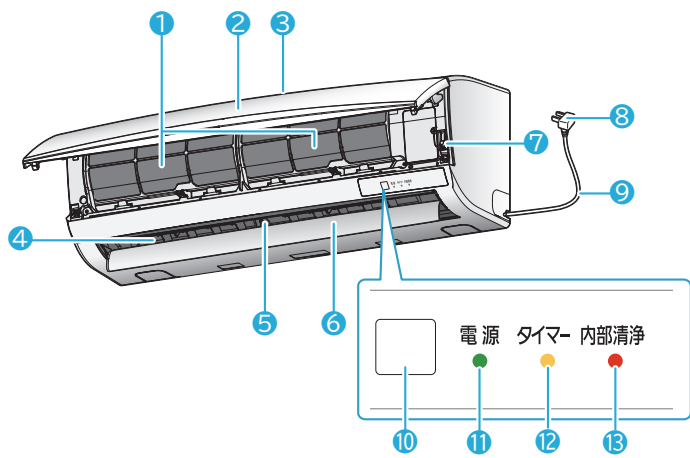
ご注意ください

乾電池の使いかたを誤ると、液もれや発熱、破裂によるけがや機器故障の原因となります。注意事項を守って安全にご使用ください。

- ・ 液がもれて目に入ったときは、こすらず、すぐに水で十分に洗い、医師の治療を受けてください。
- ・ 新旧、異種の乾電池を混ぜて使用しないでください。
- ・ 乾電池交換時は、全設定が初期設定に戻ります。乾電池交換時は、再度設定を行ってください。

各部のなまえ

室内ユニット



① エアフィルター(2 枚)

② 前面パネル

③ 吸気口(上面)

④ 吹き出し口

⑤ 左右ルーバー

⑥ 上下フラップ

⑦ 自動運転ボタン

※リモコンが使えないときなどにご使用ください。

⑧ 電源プラグ

⑨ 電源コード

⑩ 受信部

※リモコンからの信号を受信します。

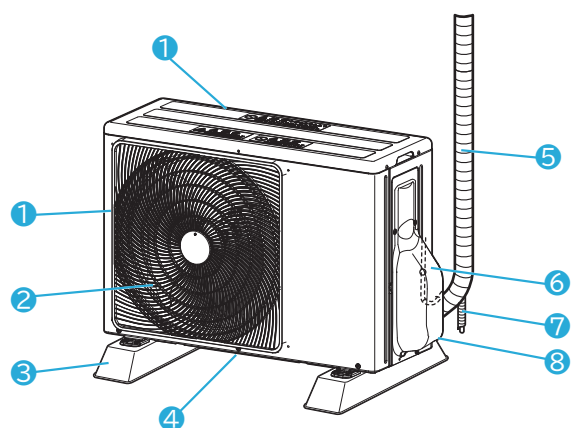
⑪ 電源ランプ(緑)

⑫ タイマーランプ(黄)

⑬ 内部清浄ランプ(赤)

ランプ表示		状態	お知らせしている内容
	電源ランプ	点灯	自動・冷房・暖房・除湿運転中
	タイマーランプ	点灯	おやすみ・入タイマー設定中
	内部洗浄ランプ	点灯	内部清潔運転中

室外ユニット



① 吸気口

② 吹出口

③ 脚

④ 排水口(底面)

※ 暖房運転時に水が流れ出ることがあります。

⑤ 配管・電気配線

⑥ バルブカバー

⑦ ドレンホース(排水管)

※ 水が流れ出ます。周囲に物を置かないようご注意ください。

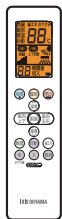
⑧ アースねじ(内部)

関連ページ

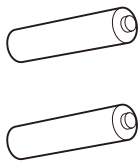
- ・ [リモコンの確認と乾電池交換方法 P14](#)

付属品を確認する

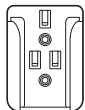
①



②



③



④



- ① リモコン×1
- ② 乾電池(単4形)×2
- ③ リモコンホルダー×1
- ④ リモコンホルダー 取付ネジ×2

関連ページ

- ・ [リモコンの確認と乾電池交換方法 P14](#)

使いかた

運転モードを設定する

❗ お願い

エアフィルターが確実に取り付けられていることを確認してください。

ほとんどの操作はリモコンで行います。

- ・ リモコンの送信部を、本体正面の受信部に向けて操作してください。

※ 角度や距離によっては信号が受信できないことがあります。できるだけ本体の受信部正面から、受信できる距離で操作してください。(正面で約 8m 以内)

— 運転する



のいずれかの運転モードボタンを押す

- ・ 室内ユニットの電源ランプが点灯し、上下フラップが開いて、選んだモードで運転が始まります。

電源



点灯

- ・ 運転中に他のモードボタンを押すと、モードが切り替わって運転します。

— 各種モード

自動

- ・ リモコンの表示部に自動と表示され、温度を検知して、設定した温度を目標に、自動で冷暖房と風量を切り替えて運転します。(風量設定はできません。)

冷房

- ・ リモコンの表示部に冷房と表示され、設定した温度を目標に冷房運転します。
- ・ 温度設定・風量設定ができます。
- ・ 風量ボタンで風量自動に設定した場合、検知した温度によって風量を自動で切り替えて運転します。(設定範囲: 16℃～30℃)

暖房

- ・ リモコンの表示部に暖房と表示され、設定した温度を目標に暖房運転します。
- ・ 温度設定・風量設定ができます。

- ・ 風量ボタンで風量自動に設定した場合、検知した温度によって風量を自動で切り替えて運転します。(設定範囲:16℃～30℃)

※ 暖房運転時は、室内ユニット・室外ユニットの運転音が大きくなる場合があります。

※ 暖房運転時は、室外ユニットに霜が付くのを防止するために、自動で霜取りを行います。霜取り運転中は、暖房が停止します。

除湿

- ・ リモコンの表示部に除湿と表示され、自動で風量を切り替えて、除湿運転します。(手動で風量設定はできません。)
- ・ 除湿優先運転となります。リモコン上では温度表示が動くことがありますが、温度設定はできません。
- ・ 除湿運転では、部屋を暖めることはできません。

— 運転を停止するには



ボタンを押す

- ・ 室内ユニットの電源ランプが消灯し、上下フラップが閉じて、運転が停止します。

電源



消灯

関連ページ

- ・ [温度・風量を設定する P23](#)
- ・ [風光調節を設定する P24](#)
- ・ [省エネ運転\(エコモード\) P26](#)
- ・ [タイマー運転を設定する P27](#)
- ・ [内部清浄モード P30](#)
- ・ [室内ユニット本体から運転操作を行う P32](#)

温度・風量を設定する

一 温度設定

 または  を押す

- ・ 運転中に、 または  を押すと、リモコンの表示部の温度表示が変わり、設定温度が変更されます。



ポイント

- ・ 16～30℃の範囲で設定できます。

一 風量設定

 を押す

- ・ 冷房または暖房運転中に、 を押すたびに、リモコンの表示部の風量の表示が変わり、風量が切り替わります。



ポイント

- ・ 自動運転中、除湿運転中は風量の設定はできません。

関連ページ

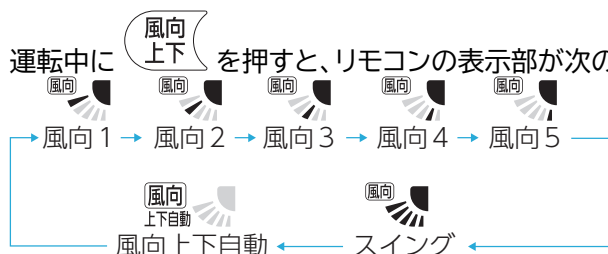
- ・ [運転モードを設定する P21](#)
- ・ [風向調節を設定する P24](#)
- ・ [省エネ運転\(エコモード\) P26](#)
- ・ [タイマー運転を設定する P27](#)
- ・ [内部清浄モード P30](#)
- ・ [室内ユニット本体から運転操作を行う P32](#)

風向調節を設定する

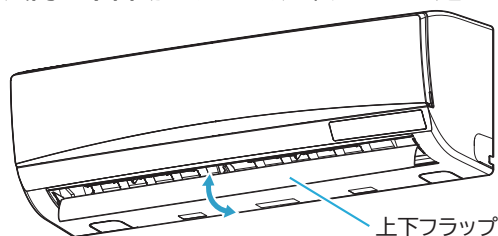
一 風向調節(上下)

風向
上下
を押す

- ・ 運転中に 風向上下 を押すと、リモコンの表示部が次のように切り替わり、上下フラップの角度を変更できます。



- ・ スイングにすると、上下フラップが上下にスイングして、まんべんなく風を送ります。
- ・ 風向上下自動にすると、運転モードの違いや部屋の温度により、自動で上下フラップの角度を調節します。



！ お願い

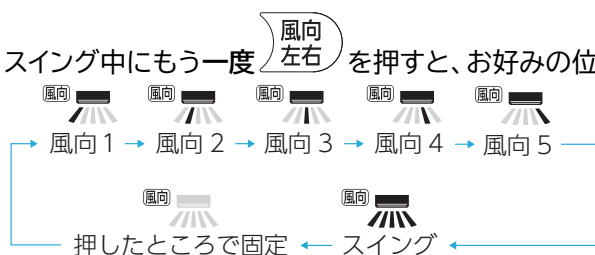
- ・ 室内ユニット内部の金属部に触らないでください。
けがをするおそれがあります。

一 風向調節(左右)

風向
左右
を押す

- ・ 運転中に 風向左右 を押すと、リモコンの表示部が次のように切り替わり、左右ルーバーの角度を変更できます。

- ・ スイング中にもう一度 風向左右 を押すと、お好みの位置で左右ルーバーは止まります。



関連ページ

- ・ [運転モードを設定する P21](#)

- [温度・風量を設定する P23](#)
- [省エネ運転\(エコモード\) P26](#)
- [タイマー運転を設定する P27](#)
- [内部清浄モード P30](#)
- [室内ユニット本体から運転操作を行う P32](#)

省エネ運転(エコモード)

エアコン稼働時に、リモコンと室内ユニットの2か所で室内温度を測定し、温度調節します。
2か所の温度のうち設定温度に近い方を優先して温度調整することで電力を抑えた運転をします。

リモコンの準備

- ・ エコモードを使用する場合は、リモコン送信部を室内ユニットのほうに向けてください。

省エネ運転にするには、冷房モードもしくは暖房モードで運転中に  を押してください。

- ・ リモコンの表示部に省エネと表示されます。
- ・ 省エネ運転を終了するには、再度  を押すか、他のボタンを押してください。
- ・  を押して運転を終了したときも、省エネ運転は終了します。
- ・ 冷房モードもしくは暖房モードにしたときも、省エネ運転は終了します。

※「おやすみタイマー」運転中はエコモード運転は行いません。

ポイント

- ・ リモコンの信号を室内ユニットが受信できないときは、自動的に室内ユニットの温度センサーによる温度調節に切り替わります。

関連ページ

- ・ [運転モードを設定する P21](#)
- ・ [温度・風量を設定する P23](#)
- ・ [風向調節を設定する P24](#)
- ・ [タイマー運転を設定する P27](#)
- ・ [内部清浄モード P30](#)
- ・ [室内ユニット本体から運転操作を行う P32](#)

タイマー運転を設定する

—おやすみタイマー—

おやすみタイマー設定中、冷房時は徐々に温度を上げ、暖房時は徐々に温度を下げて、急激な温度変化をなくし、快眠をサポートする機能です。

おやすみタイマーは  を押して設定する

-  を押すたびに、リモコンの表示部に時間が表示され、点滅します。その後、 だけ表示部に表示され、おやすみタイマーがスタートします。



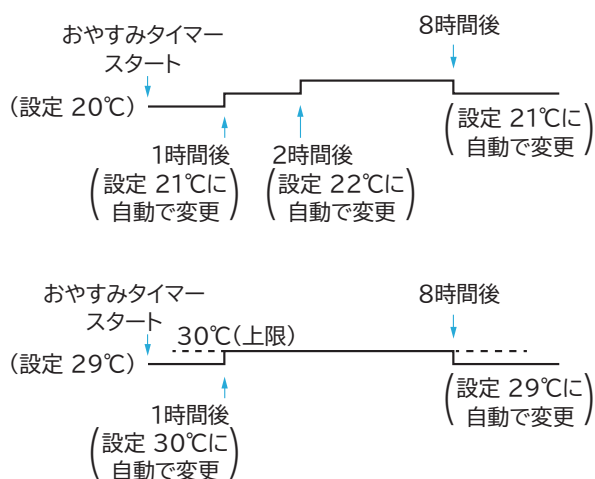
- 設定時間が経過すると、室内ユニットの電源ランプが消灯し、上下フラップが閉じて、運転が停止します。
- おやすみタイマーは、1 時間単位で 24 時間まで設定できます。
- おやすみタイマー動作中は室内ユニットのタイマーランプが点灯します。
- リモコンの表示部におやすみが点灯します。

冷房運転の場合

- 冷房運転中におやすみタイマーを設定すると、風量は自動になり、2 時間後まで 1 時間ごとに 1℃設定温度を上げて運転します。(最高 30℃まで)

※ 設定温度が変わらない切タイマー設定はできません。

例(冷房運転)

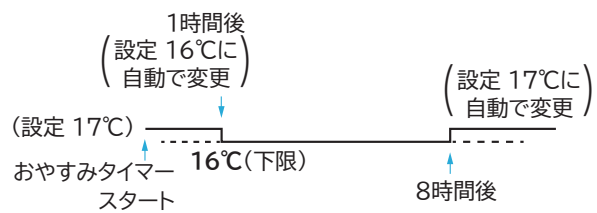
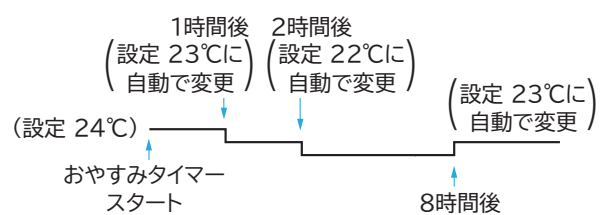


暖房運転の場合

- 暖房運転中におやすみタイマーを設定すると、風量は自動になり、2 時間後まで 1 時間ごとに 1℃設定温度を下げて運転します。(最低 16℃まで)

※ 設定温度が変わらない切タイマー設定はできません。

例(暖房運転)



—入タイマー

運転停止中に設定した時間が経過すると運転を開始させる機能です。(運転中には設定できません。)

入タイマーでの運転は、停止前に設定していた運転モードで開始します。

入タイマーは  を押して設定する

-  を押すたびに、リモコンの表示部に時間が表示され、点滅します。その後、入だけ表示部に表示され、入タイマーがスタートします。



- 設定時間が経過すると、室内ユニットの電源ランプが点灯し、上下フラップが開いて、運転が始まります。
- 入タイマーは、1 時間単位で 24 時間まで設定できます。
- 入タイマー動作中は、室内ユニットのタイマーランプが点灯します。
- おやすみタイマーと入タイマーは、同時に設定できません。

タイマーを取り消すには、 を押す

- 設定されていたタイマーは取り消され、タイマーランプは消灯します。
-  を押して運転を停止された場合もタイマー設定が取り消されます。

関連ページ

- [運転モードを設定する P21](#)
- [温度・風量を設定する P23](#)
- [風向調節を設定する P24](#)
- [省エネ運転\(エコモード\) P26](#)
- [内部洗浄モード P30](#)
- [室内ユニット本体から運転操作を行う P32](#)

内部清浄モード

内部清浄モードは、室内ユニット内部のにおいを除去し、カビの発生を抑える機能です。

冷房もしくは除湿を 10 分以上運転した後に停止すると、内部清浄が始まる

- ・ 室内ユニットの内部清浄ランプが点灯します。
- ・ 室外ユニットと室内ユニットは風量を低速にして送風(約 120 分)もしくは温風(約 90 分)運転した後、内部清浄は停止します。

※ 暖房もしくは自動運転の停止後は、一旦冷房または除湿運転にしないと内部清浄機能は動作しません。

工場出荷時は、送風内部洗浄に設定されています。

また電源プラグを抜き、再度電源プラグをコンセントに挿入した際も送風内部洗浄に設定されます。

温風内部洗浄にするときは、下記の設定を行ってください。

① 送風内部清浄



ボタンを 10 秒長押し:「ピッ♪」1 回 + 内部清浄ランプ点滅 1 回
運転停止後に送風のみの内部清浄運転を行います。(約 120 分)

② 温風内部清浄



ボタンを 10 秒長押し:「ピッ♪」1 回 + 内部清浄ランプ点滅 3 回
運転停止後に温風と送風の内部清浄運転を行います。(約 90 分)
送風内部清浄よりも効果が見込めます。

内部清浄運転を途中でとめたいとき

※ 途中でとめると効果はありません。

- ・ 内部清浄運転中に  ボタンを押す。(内部清浄モードの設定は継続されます)

ポイント

- ・ 切タイマーにより運転が停止した場合も内部清浄運転は動作します。
- ・ 室内ユニット本体の「運転/停止ボタン」を押して運転が停止した場合も内部清浄運転は動作します。

ご注意ください

- 温風内部清浄運転を行っているときは、温風で室内ユニット内部を乾燥させるため室内の温度が上がることがあります。
- 室内温度が低く、湿度が高いときに運転すると、壁や窓などに結露することがあります。
- 内部清浄運転中は風量・風向は変更できません。

関連ページ

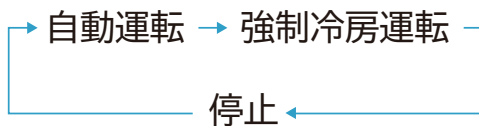
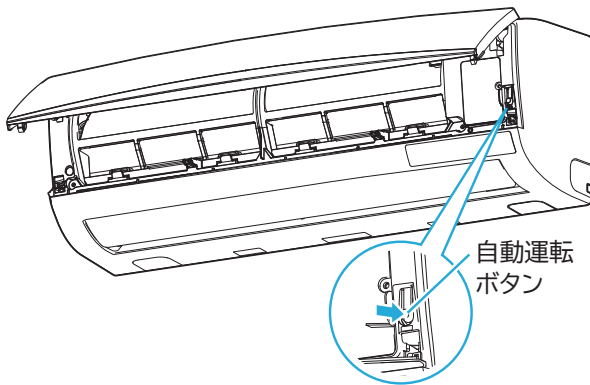
- [運転モードを設定する P21](#)
- [温度・風量を設定する P23](#)
- [風向調節を設定する P24](#)
- [省エネ運転\(エコモード\) P26](#)
- [タイマー運転を設定する P27](#)
- [室内ユニット本体から運転操作を行う P32](#)

室内ユニット本体から運転操作を行う

運転停止中に室内ユニットの運転/停止ボタンを押すことで自動運転ができます。

リモコンで操作できないときに、強制的に運転させる機能です。

- ・ 室内ユニットの前面カバーを開け、**自動運転**ボタンを押します。ボタンを押すたびに以下のように切り替わり、自動運転します。



- ・ 自動運転とは
お部屋の温度と外気温に応じて、自動運転を行います。
設定温度は **24℃**になります。
- ・ 強制冷房運転とは
サービス時やエアコンの移設時に使用します。

関連ページ

- ・ [運転モードを設定する P21](#)
- ・ [温度・風量を設定する P23](#)
- ・ [風向調節を設定する P24](#)
- ・ [省エネ運転\(エコモード\) P26](#)
- ・ [タイマー運転を設定する P27](#)
- ・ [内部清浄モード P30](#)

お手入れ

お手入れ時の注意

使用後は機能低下や故障を防ぐために定期的にお手入れしてください。

❗ お願い

- 内部の洗浄は自分で行わないでください。
誤った方法で内部の洗浄を行うと、破損して火災や感電の原因になります。エアコン内部の洗浄は専門の業者に依頼してください。
- お手入れのときは、不安定な台に乗らないでください。
- エアフィルター・前面パネルを水洗いしたときは、十分に乾かしてから取り付けてください。
- 室内ユニット内部の金属部に触らないでください。
- シンナー、アルコール、ベンジン、アルカリ性・酸性の強い洗剤、漂白剤などは使用しないでください。

関連ページ

- [エアフィルター -2 週に 1 回程度- P34](#)
- [室内ユニット表面 -汚れたら- P35](#)
- [前面パネル -汚れたら- P36](#)
- [長期間使用しないときは P38](#)

エアフィルター -2 週に 1 回程度-

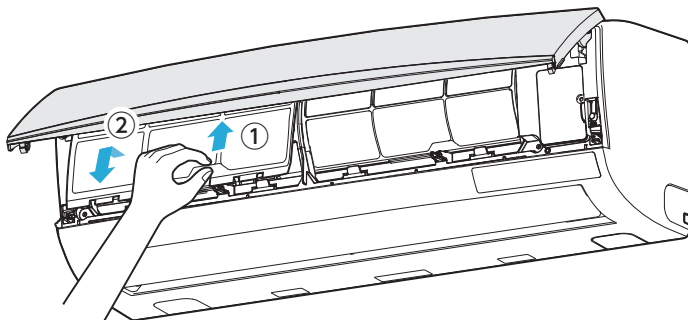
エアフィルターは取り外してお手入れしてください。

フィルターを取り外さずにお手入れした場合、天井面の汚れやつまりが解消されず、故障につながる可能性があります。

前面パネルを開け、エアフィルターを外す

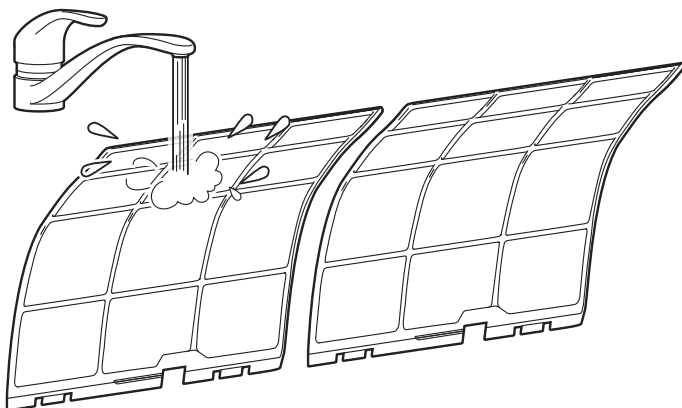
1. 運転を停止し、電源プラグを抜いてください。
2. 前面パネルを、カクツとなって止まるまで開けてください。
3. エアフィルター下部中央のつまみを持ち上げてから①、手前に引いて取り外してください②。

1



ほこりを掃除機などで吸い取るか、水洗いする

2



※水洗いした後は、よく乾かしてから取り付けてください。

— 取り付けかた

取り外しの逆の手順で行ってください。

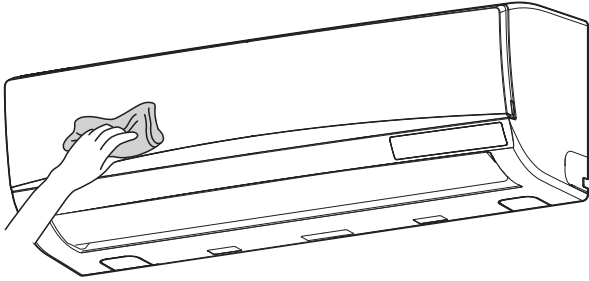
関連ページ

- ・ [室内ユニット表面 -汚れたら- P35](#)
- ・ [前面パネル -汚れたら- P36](#)
- ・ [長期間使用しないときは P38](#)

室内ユニット表面 -汚れたら-

水またはぬるま湯(40℃以下)を含ませた柔らかい布をよく絞って、汚れを拭き取る

※ 汚れが落ちにくいときは、薄めた中性洗剤を含ませた布で拭いた後、固く絞った布などで洗剤分を拭き取ってください。



！お願い

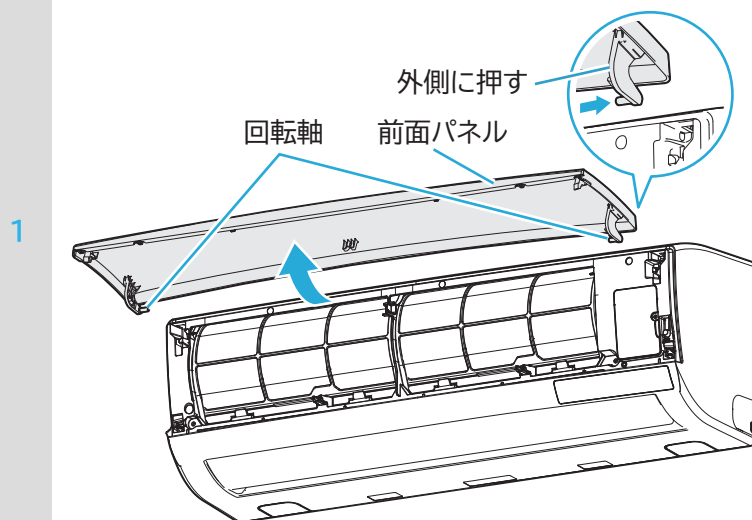
- ・ 水をかけないでください。感電・けが・故障の原因になります。
- ・ 化学ぞうきんを使用する際は、その注意書きにしたがってください。

関連ページ

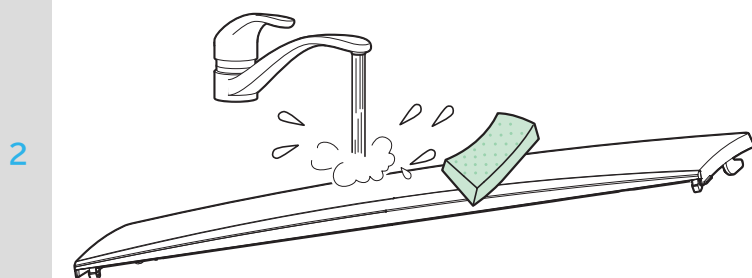
- ・ [エアフィルター -2 週に 1 回程度- P34](#)
- ・ [前面パネル -汚れたら- P36](#)
- ・ [長期間使用しないときは P38](#)

前面パネル -汚れたら-

前面パネルを水平になるまで開け、回転軸を外側に押しながら、手前に引いて取り外す



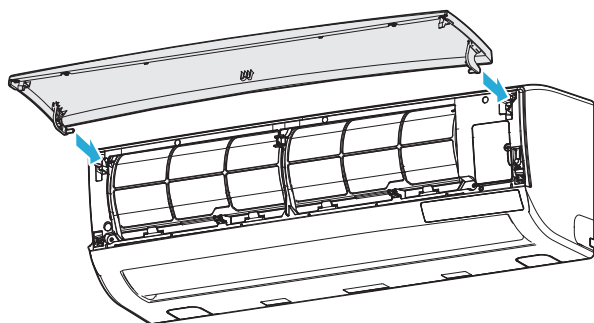
取り外した前面パネルをやわらかいスポンジなどで水洗いする



- ・ 汚れが落ちにくいときは、台所用中性洗剤で洗い、水でよく流し、よく乾かしてください。

取り付けかた

- ・ 前面パネルを水平にして、左右の回転軸を室内ユニット両端の軸の溝に合わせて、押し込む



関連ページ

- ・ [エアフィルター -2 週に 1 回程度- P34](#)

- [室内ユニット表面 -汚れたら- P35](#)
- [長期間使用しないときは P38](#)

長期間使用しないときは

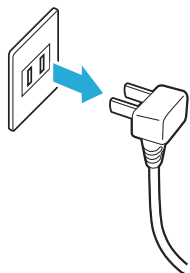
内部を乾燥させる

1

- ・ 設定温度 30℃、風量 、風向上下  (スイング) で、3 ～4 時間冷房運転を行い、内部を乾燥させてください。

運転を停止し、電源プラグを抜く

2



※形式によって電源プラグ形状は異なります。

エアフィルターのお手入れをする

3

- ・ [エアフィルター -2 週に 1 回程度- P34](#) を参照してお手入れしてください。

4

リモコンの乾電池を抜く(→[乾電池の交換方法 P16](#))

ー 再び使い始めるときは

1

エアフィルターが取り付けられていることを確認する

2

室内ユニット・室外ユニットの周囲がふさがれていないか確認する

3

リモコンに乾電池を入れる(→[乾電池の交換方法 P16](#))

4

電源プラグをコンセントに接続する

関連ページ

- ・ [エアフィルター -2 週に 1 回程度- P34](#)
- ・ [室内ユニット表面 -汚れたら- P35](#)

- [前面パネル -汚れたら- P36](#)

こんなときは 故障かな？と思ったら

使用中に異常が生じた場合は、修理を依頼される前に本書をよくお読みのうえ、以下の点を確認してください。

— 電源が入らない

→電源プラグはコンセントに確実に差し込まれていますか？

電源プラグをコンセントに確実に差し込んでください。

→ブレーカーが切れていませんか？

エアコンの回路のブレーカーを入にしてください。

— 風が止まる

→暖房運転中、室外ユニットの自動霜取りが働くと、温風が停止します
自動霜取りが終了すると、運転が再開します。

→暖房運転中、設定温度に達すると運転を停止します
温度調節をしているためで、故障ではありません。

— 暖房なのに冷たい風が出る

→暖房運転時、室外ユニットが自動霜取りをすると冷たい風が出ることがあります
故障ではありません。自動霜取りが終了すると、暖房運転に戻ります。

— 上下フラップが全閉しない

→手で上下フラップを動かすと、停止したときに、上下フラップが全閉しないことがあります
電源プラグを抜き、1 分程放置した後、もう一度差すと全閉します。

— リモコンで操作できない

→受信部の正面から操作していますか？

約 8m 以内の距離で、リモコンの送信部を、室内ユニットの受信部に向けて、できるだけ受信部の正面から操作してください。

リモコンの乾電池を交換してください。(→[乾電池の交換方法 P16](#))

→乾電池の向きが合っていますか？

乾電池を正しい向きにセットしてください。(→[乾電池の交換方法 P16](#))

→リモコンの送信部と室内ユニットの受信部の間に障害物はありませんか？

障害物を取り除いてください。

— 風量を変更できない

→除湿モードではありませんか？

除湿モード中は風量自動となり変更ができません。

異常ではありません。

— 風量が弱い

→運転モードが冷房・暖房・除湿・自動の場合、風量自動で運転中は、部屋の温度が設定温度に近づくと風量は弱まります

→エアフィルターにほこりなどが詰まっていますか？

エアフィルターをお手入れしてください。(→[エアフィルター -2 週に 1 回程度- P34](#))

— 部屋が冷えない・暖まらない

→お部屋の条件、在室人数、屋外の温度・湿度によっては、設定温度に到達しない場合があります。

→窓やドアが開けっ放しになっていませんか？

窓やドアを閉めて使用してください。

— 部屋が冷えない

→省エネ運転中は温度が 23℃以下にならないようになっています。設定温度を 23℃以下に変更してください
(省エネ運転は終了します。)(→[省エネ運転\(エコモード\) P26](#))

— 室内ユニットから霧が出る、室内ユニットに水滴が付く

→湿度の高い空気が急に冷やされると、霧が出たり、水滴が付いたりすることがあります

故障ではありません。雨の日など、湿度が高いときに冷房する場合は、窓やドアを開けっ放しにしないでください。

→エアフィルターが汚れていませんか？

室内ユニット内部の結露が多くなり水滴が発生しやすくなりますので、エアフィルターのお手入れをしてください。(→[エアフィルター -2 週に 1 回程度- P34](#))

— 室外ユニットから湯気や水が出る

→暖房運転時、室外ユニットが自動霜取りをすると湯気や水が発生することがあります
故障ではありません。

—「ポコポコ」という音がする

→ドレンホースの水が逆流しているためです

部屋の内外の気圧差が大きいと、水が逆流することがあります。窓を少し開けて気圧差を減らすか、ドレンホースに逆流防止弁を取り付けると改善することがあります。

—「ブシュッ」という音がする

→運転の停止や切り替え時に、冷媒の流れが切り替わるためです
故障ではありません。

—「ピシッ」「パキッ」という音がする

→温度変化で樹脂部分が伸び縮みしているためです
故障ではありません。

—設定温度が変わる

→おやすみタイマーで運転していませんか？

おやすみタイマーは運転中、設定温度が徐々に変わります。(→[タイマー運転を設定する P27](#))

—風がおう

→定期的に内部清浄運転を動作させてください

(→[内部清浄モード P30](#))

→エアフィルターが汚れていませんか？

エアフィルターのお手入れをしてください(→[エアフィルター -2 週に 1 回程度- P34](#))

→内部清浄運転やフィルターのお手入れをしてもにおいなどが取りきれない場合は、業者に洗浄を依頼してください

—電源ランプが点滅し動作しない

→室内ユニットまたは室外ユニットが故障している可能性があります。

電源プラグを抜いて、エアフィルターのお手入れと室外ユニットの周囲を確認し、電源プラグを差し直しても改善されない場合、[アイリスコール P52](#)(☎ [電話をかける](#))へお問い合わせください。

それでも解決できないときは

お買い上げの販売店にご相談ください。もしご購入店に依頼できない場合(引っ越しや贈り物など)は、[アイリスコール P52](#)(☎ [電話をかける](#))へお問い合わせください。

❗お願い

ご自分で分解・修理・改造をしないでください。

長年ご使用のルームエアコンの点検を！



愛情点検

こんな症状はありませんか

- ・ 電源プラグや電源コードが異常に熱くなったり、変色したり、こげくさいにおいがする
- ・ ブレーカーが頻繁に落ちる
- ・ 架台(置き台)や吊り下げなどの取付部品が腐食していたり、ゆるんだりしている
- ・ 室内ユニットから水もれする
- ・ 電源コードに破損が見られる
- ・ 運転音が異常に大きい
- ・ ボタンの操作が不確実
- ・ その他の異常や故障がある



ご使用中止

故障や事故防止のため、すぐに運転を停止し、電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店にご相談ください。もしご購入店に依頼できない場合(引っ越しや贈り物など)は、[アイリスコール P52](#)(☎ [電話をかける](#)) に点検修理をご相談ください。

電源ランプが点滅したら

エアコンになんらかの異常発生していることが考えられます。

お買い上げの販売店または[アイリスコール P52](#)(☎ [電話をかける](#))にご相談ください。



電源 タイマー 内部清掃
● ● ●

アフターサービスとその他の内容

長期使用製品について

経年劣化による発火・けがなどの事故に至るおそれがあることを注意喚起するために、電気用品安全法で義務付けられた以下の内容を、製品本体に表示しています。

【製造年】 本体ラベルに記載

	※【設計上の標準使用期間】 10 年 設計上の標準使用期間を超えてお使いいただいた場合は、経年劣化による発火・けがなどの事故に至るおそれがあります。
---	--

※設計上の標準使用期間について

JIS 基準に基づく標準的な使用条件下で使用した場合に、安全上支障なく使用することができる標準的な期間を、製品本体に表示してあります。無料修理を行う保証期間とは異なります。

(JIS C 9921-3)

		冷房	暖房
環境条件	電源電圧	単相 100V	
	周波数	50/60Hz	
	温度(室内)	27℃(乾球温度)	20℃(乾球温度)
	湿度(室内)	47%(湿球温度:19℃)	59%(湿球温度:15℃)
	温度(室外)	35℃(乾球温度)	7℃(乾球温度)
	湿度(室外)	40%(湿球温度:24℃)	87%(乾球温度:6℃)
	設置条件	据付工事説明書による標準的な設置	
負荷条件	住宅	木造平屋、南向き和室、居間	
	部屋の広さ	製品能力に見合った広さの部屋	
想定時間	1 年間の使用日数 (東京モデル)	6 月 2 日から 9 月 21 日までの 112 日間	10 月 28 日から翌年 4 月 14 日までの 169 日間
	1 日の使用時間	9 時間/日	7 時間/日
	1 年間の使用時間	1,008 時間	1,183 時間

設置状況や環境、使用頻度が上記の条件と異なる場合、または、本来の使用目的以外でご使用された場合は、設計上の標準使用期間より短い期間で経年劣化による発火・けがなどの事故に至るおそれがあります。

仕様

型番	室内ユニット		IRR-2225C	IRA-2206R
	室外ユニット		IUF-2225	IRA-2206RZ
電源			単相 100V、50/60Hz	
電源プラグ形状			㊦	
冷房	定格能力(標準)		2.2kW(0.7 ～3.1kW)	
	定格消費電力		550W(130～ 800W)	
	運転電流		6.47A	
	運転音 (音響パワーレベル)	室内ユニット	57dB	
		室外ユニット	57dB	
	面積の目安	鉄筋アパート 南向き洋室	15 m ² (9 畳)	
		木造南向き和室	10m ² (6 畳)	
暖房	定格能力	標準	2.2kW(0.5 ～3.9kW)	
		低温	2.8 kW	
	定格消費電力	標準	455W(110 ～1190W)	
		低温	1050W	
	運転電流		5.35A(最大 15.0A)	
	運転音 (音響パワーレベル)	室内ユニット	59dB	
		室外ユニット	57dB	
	面積の目安	鉄筋アパート 南向き洋室	10m ² (6 畳)	
		木造南向き和室	8m ² (5 畳)	
通年エネルギー消費効率(JIS C 9612:2013)			5.8	
区分名			I	
外形寸法	室内ユニット		幅 795×奥行 230×高さ 250mm	
	室外ユニット		幅 660(+56※1)×奥行 240(+57)×高さ 530mm	
質量	室内ユニット		9.0kg	
	室外ユニット		20.5kg	
待機電力			0.6W	

型番	室内ユニット		IRA-2806R	IRA-4006R
	室外ユニット		IRA-2806RZ	IRA-4006RZ
電源			単相 100V、50/60Hz	
電源プラグ形状			㊦	㊬
冷房	定格能力(標準)		2.8kW(0.7～ 3.4kW)	4.0kW(0.7～ 4.3kW)
	定格消費電力		720W(120～ 970W)	1260W(130～ 1370W)
	運転電流		7.57A	13.1A
	運転音 (音響パワーレベル)	室内ユニット	59dB	62dB
		室外ユニット	59dB	65dB
	面積の目安	鉄筋アパート 南向き洋室	19 m ² (12 畳)	28 m ² (17 畳)
		木造南向き和室	13 m ² (8 畳)	18 m ² (11 畳)
暖房	定格能力	標準	3.6kW(0.5～ 4.8kW)	5.0kW(0.7～ 6.2kW)
		低温	3.5kW	4.5kW
	定格消費電力	標準	865W(110 ～ 1400W)	1420W(150 ～ 1850W)
		低温	1240W	1640W
	運転電流		8.92A(最大 15.0A)	14.79A(最大 20.0A)
	運転音 (音響パワーレベル)	室内ユニット	60dB	61dB
		室外ユニット	61dB	67dB
	面積の目安	鉄筋アパート 南向き洋室	16 m ² (10 畳)	23 m ² (14 畳)
		木造南向き和室	13 m ² (8 畳)	18 m ² (11 畳)
通年エネルギー消費効率(JIS C 9612:2013)			5.7	4.9
区分名			I	Ⅲ
外形寸法	室内ユニット		幅 795×奥行 230×高さ 250mm	
	室外ユニット		幅 780(+70※1)×奥行 290(+52)×高さ 550mm	
質量	室内ユニット		9.5kg	10kg
	室外ユニット		29kg	34.5kg
待機電力			0.6W	

※1:バルブカバーと取っ手を含む

- 商品の仕様は予告なく変更することがあります。
- J-Moss(JIS C 0950:2021)の規定に基づき、対象となる 6 物質(鉛・水銀・カドミウム・六価クロム・PBB・PBDE)の含有について情報を公開しています。詳しくはホームページをご覧ください。
<https://www.irisohyama.co.jp/safetyinfo/importanttopics/j-moss.html>

廃棄について

製品や梱包材の廃棄については、お住まいの自治体の取り決めにしたがって処理してください。

— 廃棄に関する注意

- ・家電リサイクル法では、お客様が使用済みのルームエアコンを廃棄される場合は、収集・運搬料金、再商品化等料金をお支払いいただき、対象商品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。

保証とアフターサービス

— 保証書

お買い上げの際に、所定の事項が記入されている保証書をお買い上げの販売店より必ずお受け取りください。
保証書がないと、保証期間内でも代金を請求させていただく場合がありますので、大切に保管してください。

— 保証期間

保証期間は、保証書に記載されています。

保証期間内に故障した場合は、保証規定にしたがって修理させていただきます。

— 保証期間経過後の修理

お買い上げの販売店または[アイリスコール P52](#)(☎ [電話をかける](#))にご相談ください。修理により製品の機能が維持できる場合は、ご要望により有料にて修理いたします。

— 補修用性能部品の保有期間について

当社はこの製品の補修用性能部品の製造打ち切り後、9 年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

— アフターサービスについて

ご不明な点はお買い上げの販売店または[アイリスコール P52](#)(☎ [電話をかける](#))にお問い合わせください。

冷媒に関する注意

—フロンについて



この家庭用エアコンには、GWP(地球温暖化係数)が 675 のフロン類(R32)が封入されています。
地球温暖化防止のため、移設・修理・廃棄するときは、フロン類の回収が必要です。

お問い合わせ

使いかた・お手入れ・修理について

●まず、お買い上げの販売店にご相談ください。もし購入店に依頼できない場合(引っ越しや贈り物など)は、以下の窓口にお問い合わせください。

アイリスコール:[0800-919-0770](tel:0800-919-0770)(通話料無料)

平日・土日祝日 9:00～17:00 (年末年始・夏季休業期間・会社都合による休日を除く)

- ・ お問い合わせの際は、製品の型番をお調べいただき、取扱説明書・ご購入履歴のわかるもの・メモのご用意をお願いします。

お客様サポート



<https://www.irisohyama.co.jp/support/>

製品の最新情報はこちら

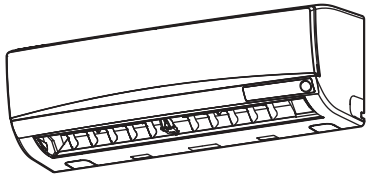
<https://www.irisohyama.co.jp/>

本体パネル・前面パネル・上下フラップの取り外しかた

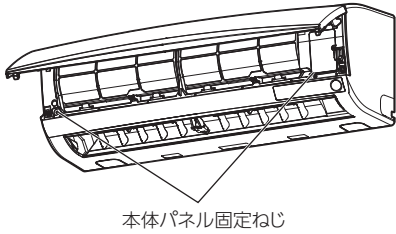
※通常、本体パネル・前面パネル・上下フラップを取り外す必要はありません。取り外す必要があるときは、以下の手順で行ってください。
※本体パネル・前面パネル・上下フラップを取り外すときは、運転を停止し、電源プラグをコンセントから抜いてください。

■ 本体パネルの取り外しかた

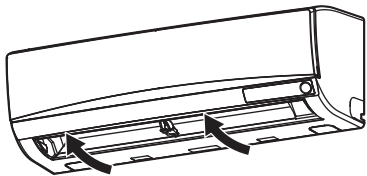
- ①上下フラップを取り外します。



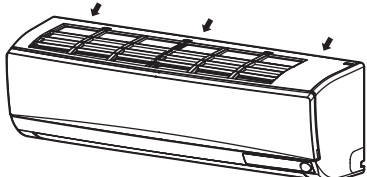
- ②前面パネルを開け、本体パネル固定ねじ（2本）を外します。



- ③前面パネルを閉じて、吹出口下部に親指を入れ、本体パネル下部を持ち上げます。

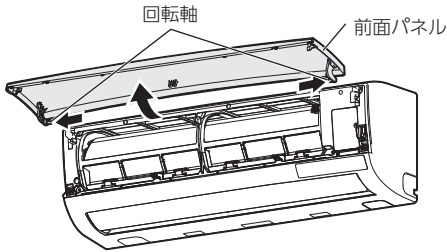


- ④本体パネル天面のつめ部（4か所）に手を掛け、後縁をめくるようにしてつめを外してください。



■ 前面パネルの取り外しかた

- ・前面パネルを開け、回転軸を外側に押しながら、手前に引いて取り外してください。

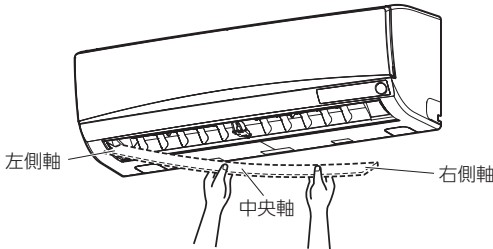


■ 前面パネルの取り付けかた

- ・前面パネルを水平にして左右の回転軸を本体両端の軸の溝に合わせて押し込んでください。

■ 上下フラップの取り外しかた

- ①上下フラップを開きます。
- ②上下フラップの右半分をたわませて中央軸を外し、下側にたわませます。
- ③右側軸を先に外し、そのあとに左側軸を外します。



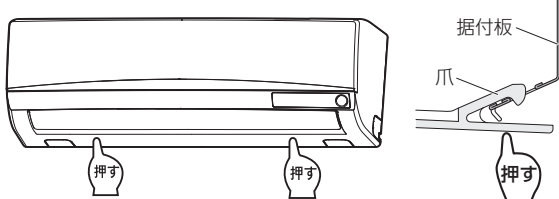
■ 上下フラップの取り付けかた

- ・左側、右側、中央の順で軸にはめ込みます。

据付後の取り外しかた

■ 室内ユニット

- ・室内ユニット下側の「PUSH」を上を押しながら手前に引きます。



■ 室外ユニット

- ・地球環境保護の観点から、ポンプダウン（冷媒回収）をしてから取り外します。

■ 既設配管を再利用のときの注意

- ・古いエアコンを取り外すときは、必ずポンプダウンを行い、冷媒・冷凍機油の回収を行ってください。
- ・配管肉厚が0.8mmあること（JIS規格の配管）
- ・フレアはR32対応に切り直し、φ12.7mmの既設配管のときはフレアナットの変換が必要です。
- ・ポンプダウンができないとき・配管内が極端に汚れているときは、洗浄するか新しい配管に交換してください。
- ・施工には、R32対応の工具を使用してください。
- ・一部の機種では、接続配管径の仕様が異なりますので、このときは、買い換え後のエアコンに合った新しい配管を使用してください。
- ・配管に腐食・亀裂・傷・変形・劣化などがないか、点検してください。
- ・配管以外の部材（断熱材や配管支持部材など）も再使用可能か点検してください。
- ・再使用不可能のときは、補修または新しい配管に交換してください。



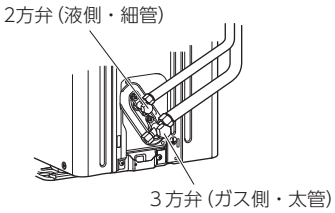
警告

ポンプダウン作業では、次のことを確実に行ってください

- 冷凍サイクル内に空気を混入させない
- 2方弁・3方弁両方とも閉じたあと、圧縮機を停止させ冷媒配管を外す
- 圧縮機を運転したまま2方弁・3方弁が開放状態で冷媒配管を外すと、空気などを吸引し、冷凍サイクル内が異常高圧になり、破裂・けがなどの原因になります。

ポンプダウンのしかた（移設時など）

- ①室内ユニットの自動運転ボタンを2回押すと、ピッと音がして冷房運転が始まります。ボタンを押すたびに自動→冷房→停止に切り替わり、強制運転します。
- ②5分～10分後に2方弁の弁棒を閉めます。
- ③更に2分～3分冷房運転後、3方弁の弁棒を閉め、運転を停止します。
- ④液側とガス側の接続配管を取り外します。



同梱付属部品

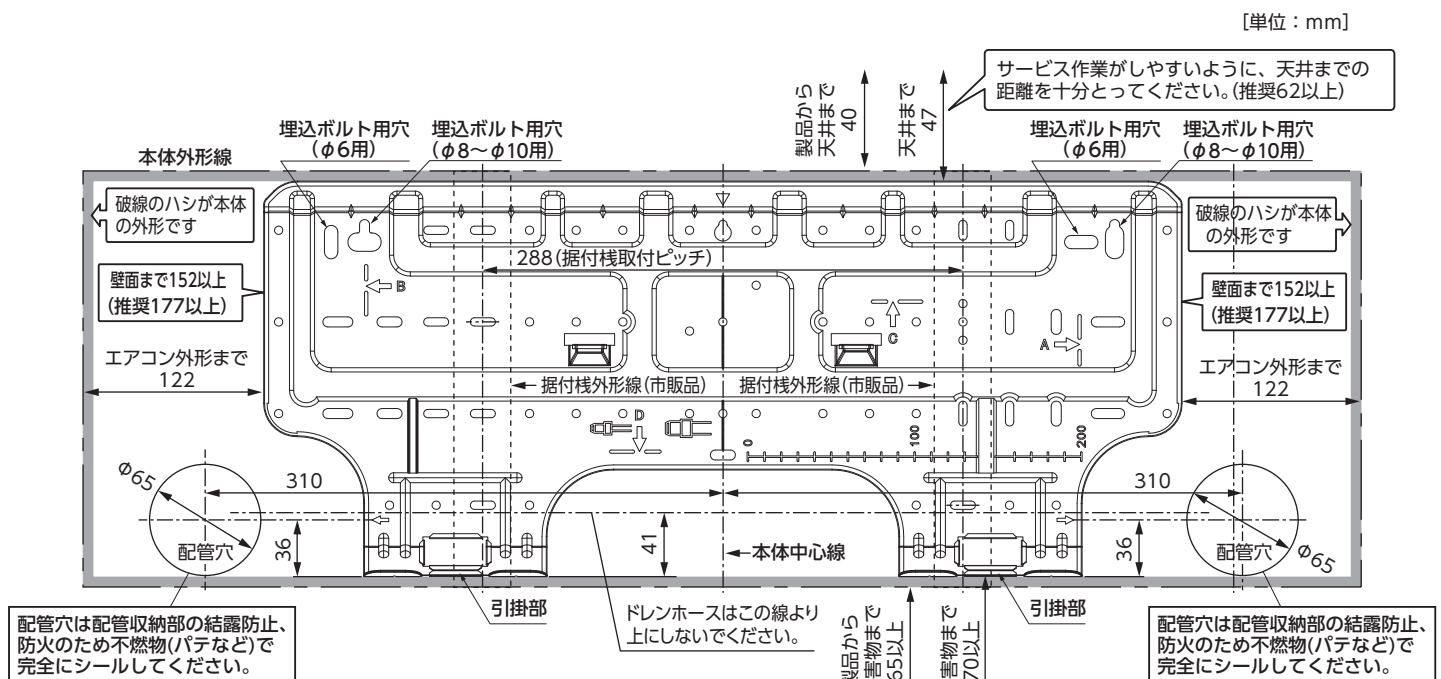
品番	付属部品	個数	品番	付属部品	個数	品番	付属部品	個数	付属品	個数
①	据付板	1	④	ワイヤレスリモコン	1	⑦	リモコンホルダー取付ねじ（長さ16mm）	2	据付工事説明書	1
②	据付板取付ねじ	6	⑤	単4形乾電池	2	⑧	防水ゴム*2キャップ	2	かんたん操作ガイド	1
③	ドレンニップル*1	1	⑥	リモコンホルダー	1				保証書	1

※1 ③ドレンニップルは室外ユニットに同梱されています。
※2 ⑧防水ゴムキャップは、室外ユニットが以下の製品には付属してません。
IRA-2206RZ、IUF-2225

現地で準備していただく物

- ☐ 内外接続電線
☐ 冷媒配管
☐ 配管テープ、ビニールテープ
☐ 配管穴用パイプ
☐ 配管工事部材
☐ 配管固定用バンド、ねじ
- ☐ ドレンホース（室内/室外ユニット用）
☐ パテまたはコーキング材
☐ アース棒、アース線、アース端子
☐ 漏電しゃ断器
☐ 配線用しゃ断器（ブレーカー）

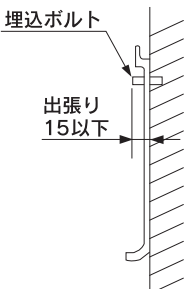
穴あけ寸法図



据付板固定

据付板を壁に直付けする場合

- 据付板は最上部両端と下部の引掛部付近を必ずねじで固定してください。
- 据付板の周囲は間隔をあけ、壁内の構造材をさがして水平に取り付けます。（6か所以上をねじで固定してください。）
- 据付板の上側に水準器をのせて水平を確認します。
- 埋込ボルトを利用するときは、右図のように埋込ボルト用穴を利用して固定します。（埋込ボルトの出張り寸法は15mm以下にしてください。）



据付板刻印A・B・C・Dからエアコン外形までの寸法

方向	エアコン外形までの寸法
右側	刻印Aの から 182mm
左側	刻印Bの から 182mm
上側	刻印Cの から 77mm
下側	刻印Dの から 77mm

1 穴あけ・据付板固定

- ・「穴あけ寸法図」にしたがって穴を開けます。
- ・据付板は、6か所以上をねじで固定してください。

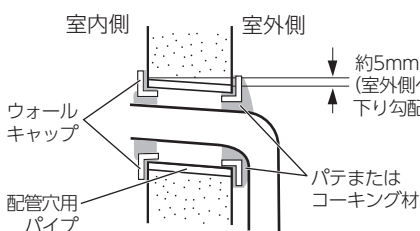
■ 穴あけについて

①穴は室外側に下り勾配をつけてあける。（水漏れ防止のため）

【貫通穴径】

φ6.4/φ9.5配管	φ65mm以上
φ6.4/φ12.7配管	φ70mm以上

②市販の配管穴用パイプ、ウォールキャップを取り付ける。



- ・接続ケーブルや配管の保護のために、必ず使用してください。
 - ・メタルラス、ワイヤラス等、金属を使っている壁は、必ず使うように電気設備技術基準で定められています。
 - ・室内機を取り付けた際に、壁穴用パイプやウォールキャップがはみ出す場合は、はみ出し部をカットしてください。
- ③すき間をパテまたはコーキング材でシールする。
- ・化粧カバー仕上げの場合も必要です。
 - ・室内側と室外側の両方からすき間を埋めてください。
- ※②③が不完全な場合、雨水や空気の侵入による結露や室内温度の誤検知または、小動物の侵入防止のため、必ず行ってください。

■ 廻り縁と鴨居を利用する場合

据付枠（市販品）を使用する

2 電気工事

- ・電源はルームエアコン専用とし、エアコン専用コンセントを電源コードの届くところに据付してください。
- ・コンセントは新しいものを使用してください。
- ・プラグの交換や延長などの電源コード改造や、延長コードの使用は絶対にしないでください。故障や火災の原因になります。
- ・電源コードをビニールテープなどで巻いて収納しないでください。
- ・電源電圧を必ず確認してください。

IRR-2225C／IRA-2206R／IRA-2806R

電源	コンセント定格・形状	最大電流	コード長さ
単相100V	15A ㉑	15A	1.3m

IRA-4006R

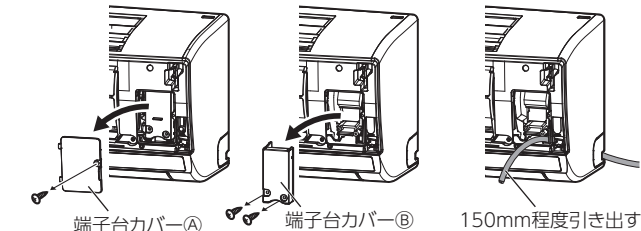
電源	コンセント定格・形状	最大電流	コード長さ
単相100V	20A ㉒	20A	1.3m

- ・電源回路容量に十分余裕のあるように配線工事を行ってください。また、機種と据付場所によっては感電防止のため漏電しゃ断器の取り付けが法規上必要な場合があります。

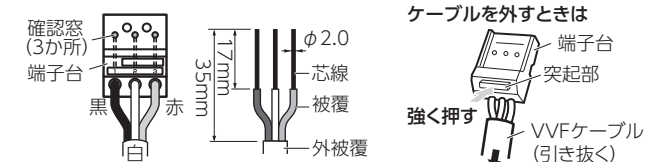
3 接続配線の接続（室内ユニット）

■ 配線のしかた

①前面パネルを開け、端子台カバー①・端子台カバー②を順に外します。



②ケーブルを、前面より150mm程度引き出して、先端の皮をむき、端子台に挿入します。
※皮むき時に芯線の被覆を傷つけないでください。
※VVFケーブルは、φ2.0（3芯）を使い、確認窓から芯線が見えるまで差し込んでください。
（確認窓が見にくい場合、正面または斜め上からのぞき込むように確認してください。）



③端子台カバー②を元のねじ2本で取り付けます。
④端子台カバー①左側のつめを本体内側に引っ掛けて、元のねじで固定し、前面パネルを閉じます。

4 配管・ドレンホースの成形

■ ドレンホースの接続

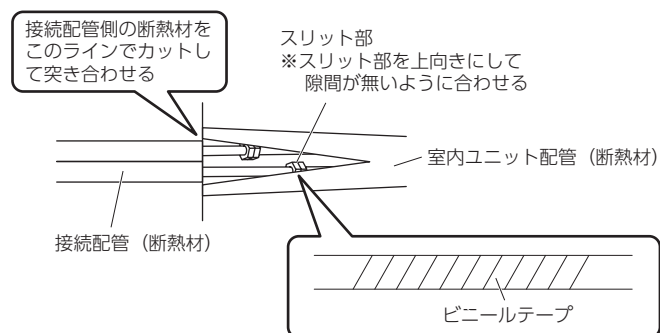
- ・製品のドレンホースの外径はφ16です。延長ドレンホースの内径φ16部分でドレンホースと接続してください。



- ・ドレンホースは必ず下り勾配を2°以上設け、確実に排水されるように施工してください。
- ・延長ドレンホースが屋内を通るときは、結露防止のための断熱処理をしてください。
- ・ドレンホース接合部は、抜け防止と漏水防止のため必ずテープを巻いてください。
- ・施工後は、ドレンホース接合部からの漏水がなく、屋外に排水されることを確認してください。

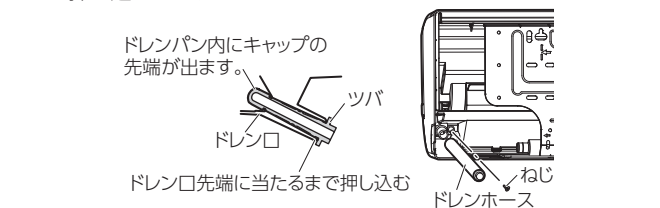
配管とユニット間配線をテープで止める

- ・断熱材のスリット部を上向きにして、すき間のないように密着させてビニールテープで巻いてください。配管の結露により、水もれの原因になります。



■ 左後取り・左取り・左下取りの場合

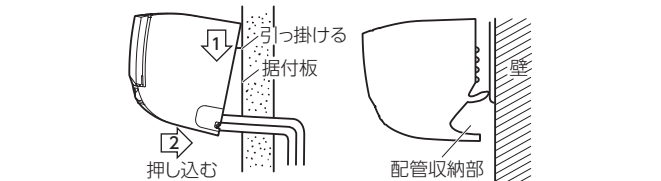
- ・ドレンホースとドレンキャップを付け替えます。ドレンホースはねじで固定されています。付け替え後もこのねじで固定してください。ドレンキャップの差し込みは、4mmもしくは5mmの六角レンチを使用して、ドレンキャップのツバが、ドレン口先端に当たるまで押し込みます。



- ※配管を曲げるときはポリシン・スプリングバンダーなどを使い、配管をつぶさないように注意してください。
- ※配管・VVFケーブル・ドレンホースはふくらみのないよう下側から化粧テープで巻いてください。
- ※配管接続部の断熱材は10mm程度ラップさせ、隙間が開かないようにテープでシールしてください。
- ※補助配管のスリットは確実にシールしてください。
- ※補助配管の接続口に取り付けてあるナイロンキャップは再使用しないでください。
- ※ポリシンを使用するときは削り粉が入らないよう、必ずフレア加工を行った後に挿入してください。

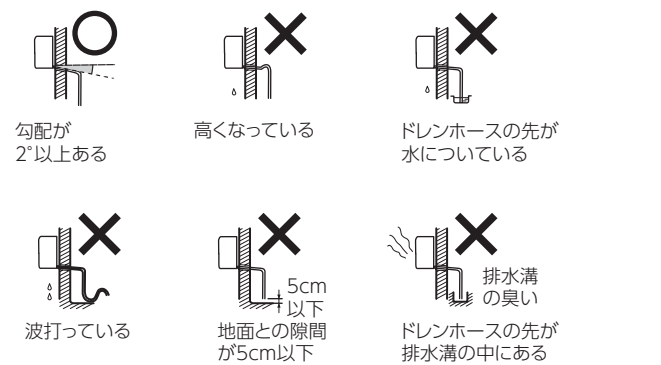
5 室内ユニットの取り付け

- ①配管を壁穴に通し、据付板に室内ユニットを引っ掛けます。
 - ②室内ユニットを左右に動かして、引っ掛かっていることを確かめ、下部を壁側に押しつけます。
- ※電源コードを収納する場合は配管収納部に収納してください。



ドレン排水について

- ・ドレンホースは必ず下り勾配を2°以上付けてください。
- ・次のようなドレン排水は行わないでください。

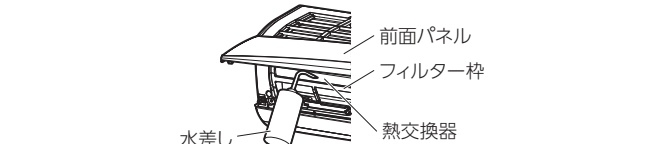


- ・気密性の高い部屋で換気扇などを使用すると、排水管からポコポコ音が発生する場合があります。このようなときは、必要に応じてルームエアコン用逆止弁を取り付けてください。

6 ドレン排水の確認

取り付け後、ドレン排水の確認を以下の手順で行ってください。

- ①前面パネルを開けてください。
- ②片側のエアフィルターを取り外してください。（右取りの場合は左側のエアフィルター、左取りの場合は右側のエアフィルター）
- ③図に示すように、水差しの先端をフィルター枠の間から挿入し、水差しの先端を熱交換器に当てて、ゆっくりと水を注入してください。



- ④ドレンホースから排水されることを確認してください。
- ⑤確認後、エアフィルターを取り付けてください。（エアフィルター先端部が奥に突き当たるまで差し込み、外していないエアフィルターと同じ高さにする）
- ⑥前面パネルを閉じてください。

室外機底板には、暖房運転時の除霜水を効率よく排水させるために穴が開いています。ベランダ置きや壁面据付時などの集中排水が必要なときは、下記手順に従って排水処理を行ってください。

- ①底板下面にある2個の長穴に付属の防水ゴムキャップを取り付け、防水処理を行います。
- ・防水ゴムキャップに4本の指を入れ、底板下側から排水穴に押し込んで挿入します。
- ・外周部を押し、確実に挿入してください。（不完全な挿入・外周部のめくれ・挟み込みは水漏れの原因になります。）

※室外機品番：IRA-2206RZ・IUF-2225には防水ゴムキャップは付属せず、この工程は不要です。

- ※手袋などをはめて作業してください。
- ※この作業を行っても完全に防水できないときは、コーキング・パテなどのシール材を追加してください。

②ドレンニップルを底板の排水口に押し込みながら左右に回転させて取り付けます。取り付け後は、ドレンニップルと底板に隙間がなくしっかりと取り付けられていることを確認してください。

- ③ドレンニップルに市販の「ドレンホース」（内径16mm）を取り付け、排水処理をします。
- ・室外ユニットが水平であることを確認し、接続のドレンホースはたるみなく、下り勾配にします。

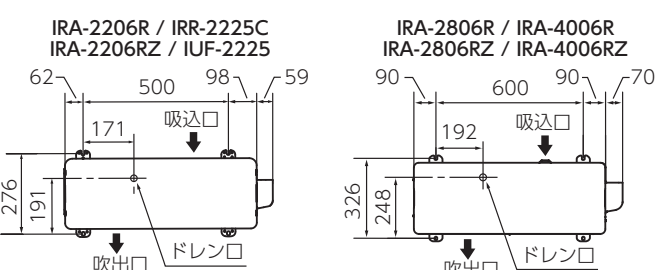


※市販のビニールホースは、つぶれて排水できないおそれがあるので、使用しないでください。

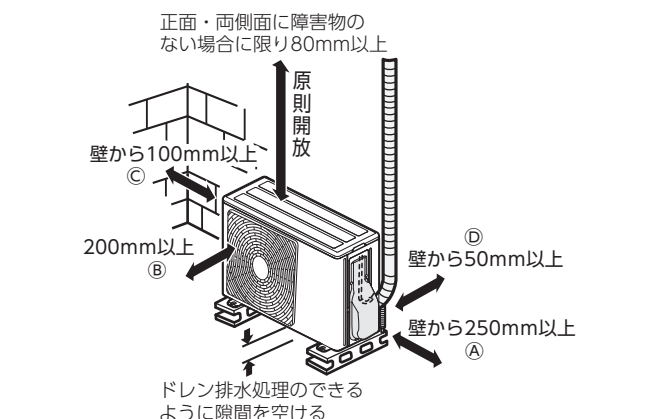
寒冷地でのお願い
寒冷地ではドレン水が凍結するので、ドレン工事は行わないでください。
寒冷地:日中でも外気温0℃以下の日が2～3日連続する地域

7 室外ユニットの取り付け

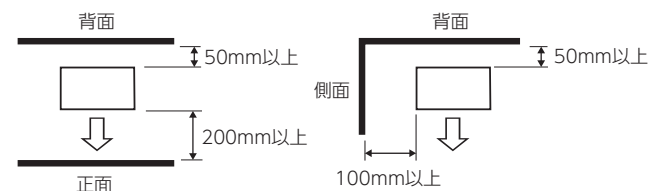
確実に固定してください。



室外ユニットは、周囲に下図の距離を取って据付してください。



- ※室外ユニットの据付は、図の方向①、②、③、④のうち少なくとも2方向は開放してください。
- ・室外ユニット周囲が開放された据付場所が選べず、やむを得ず吸込口に壁などの障害物がある場合は下記に従ってください。ただし、冷暖房能力は10%程度悪化する場合があります。



8 冷媒配管の接続

接続配管

	液側（外径）	ガス側（外径）
	φ6.35	φ9.52
肉厚	0.8mm	
材料及び規格	リン脱酸鋼 C1220T JIS H 3300 （付着油量：40mg／10mm以下）	

■ フレア加工

- ①パイプカッターで配管を切断します。バリは必ず取ってください。（ガスもれの原因になります。）
- ②フレアナットを配管に挿入後、フレア加工をします。

フレア加工寸法：A（単位：mm）

銅管外径	6.35	9.52
A ^{+0.0} _{-0.4}	9.1	13.2



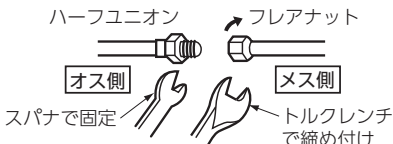
※R32・R410A用フレアツールをおすすめしますが、R22用ツールを使用するときは下表の通り銅管の出し代Bを調整すれば使用できます。

フレア加工時の銅管出し代：B（単位：mm）			
	R32-R410用フレアツール	R22用フレアツール	
	リジッド（クラッチ式）	リジッド（クラッチ式）	
B	0～0.5	1.0～1.5	

- ※作業のポイント
フレア加工（R32-R410A用ツール、リジッド形）するときの銅管出し代Bを、0.5mmにすると、フレア加工寸法が大きくなり、トルクレンチでの締めすぎを防止できます。
- ③フレア加工部に、傷・切粉付着・変形・段差・扁平がないことを確認します。

■ 接続部の締め付け

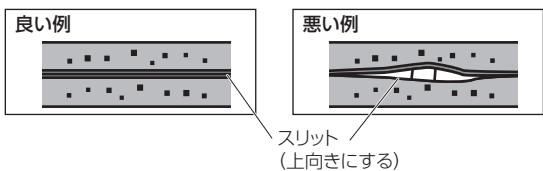
- 接続配管の中心を合わせ、フレアナットを指先で十分締めた後、図のようにスパナで固定し、トルクレンチで締め付けます。
- ※フレア面への冷凍機油の塗布は行わないでください。



ハーフユニオン接続時	
銅管外径	締め付けトルク
6.35mm	14～18N・m（1.4～1.8kgf・m）
9.52mm	34～42N・m（3.5～4.3kgf・m）

■ 配管の断熱方法について

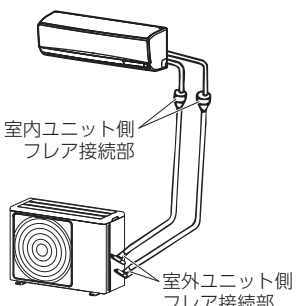
- 断熱材で配管をしっかり覆った後にテープ処理をしてください。



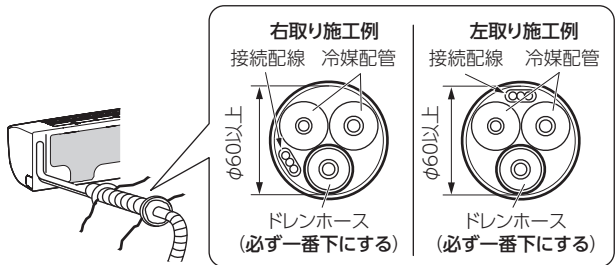
※隙間があると結露して水もれの原因になります。
※スリットは上向きにしてください。

フレア配管接続部の締付トルク

室内ユニット・室外ユニットの各フレア配管接続部は、トルクレンチを使用して、規定の締め付けトルクで確実に締め付けてください。接続に不備があると、ガスもれだけでなく、回路故障の原因にもなります。



壁穴に通すときの、接続配線・冷媒配管・ドレンホースの推奨配置



- ※壁を貫通させるときは、必ず**ウォールキャップ**と**配管穴用パイプ**を使用してください。
- ※集合住宅に据付する場合で、配管類が防火区画を貫通するときは、耐火処置として**耐火キャップ**が必要です。
- ※配管接続時に、ごみ・水分・砂・切粉などが配管に入らないようにしてください。
- ※配管接続部の断熱材は10mm程度ラップさせ、隙間が開かないようにテープでシールしてください。

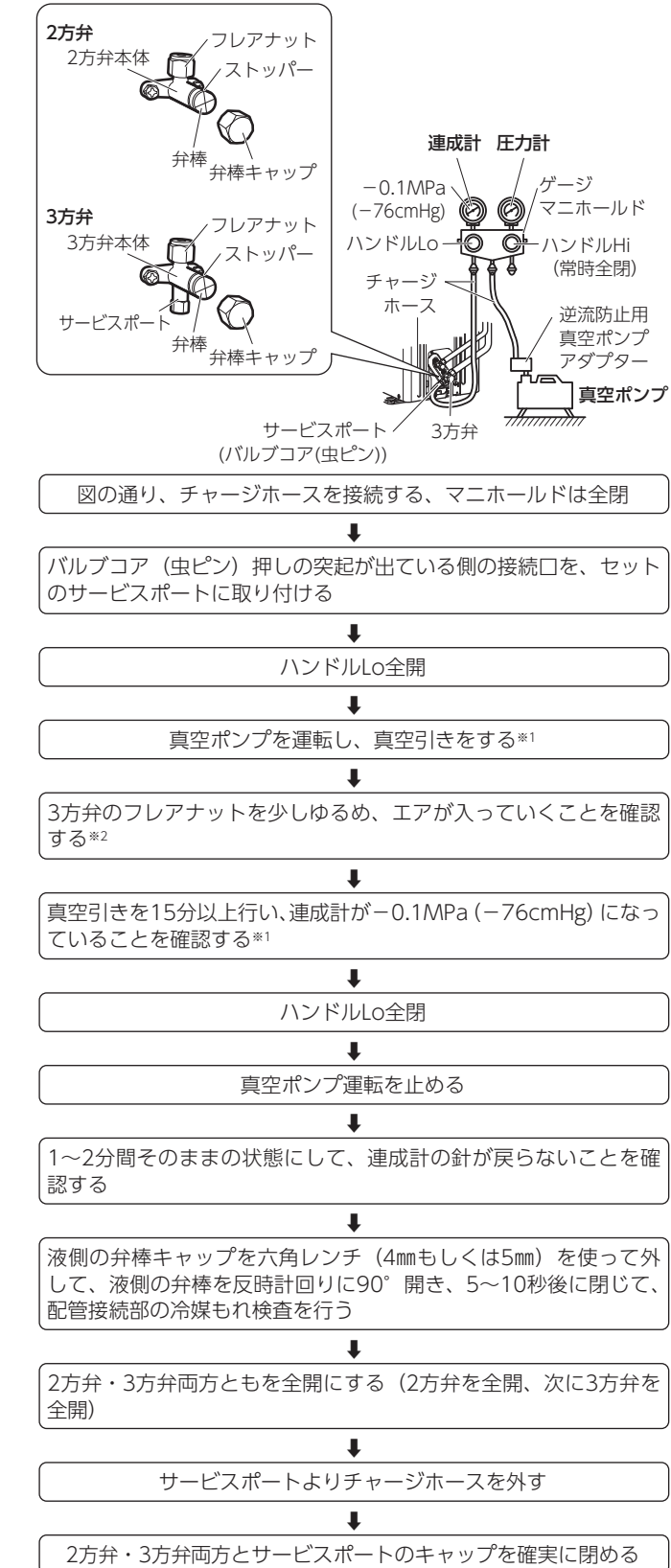
9 エアページ

- ※エアページ（接続配管内の空気のパージ）は、地球環境保護の観点から「真空ポンプ方式」でお願いします。
- ※地球環境保護のため、フロンガスを大気中に放出しないでください。
- ※真空ポンプ方式にてセット内の残留空気（窒素など）を排除してください。空気が残留すると能力低下などをまねくことがあります。

操作上の注意

- トルクレンチで規定の締付けトルクで締め付けてください。

	二面幅	締め付けトルク
	H17	14～18N・m（1.4～1.8kgf・m）
弁棒キャップ	H19	
	H21	
	H22	33～42N・m（3.4～4.3kgf・m）
	H27	
サービスポート	H17	14～18N・m（1.4～1.8kgf・m）



※1 真空ポンプは、必ず逆流防止機構付きを使用してください。また、真空ポンプ・真空ポンプアダプター及びゲージマニホールドは、使用前に各ツールに付属の取扱説明書を読んで、正しく使用してください。真空ポンプは、油がオイルゲージの指定線まで入っていることを確認してください。

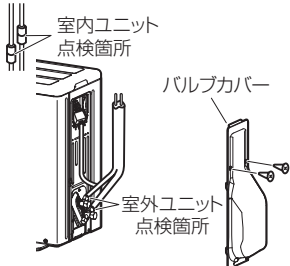
※2 エアが入っていないときは、チャージホースのバルブコア押しの突起が出ている側が、サービスポートにしっかり接続されているか、再確認してください。

接続部から冷媒がもれるとき

※フレアナットが規定トルクで締め付けられているか、再確認してください。規定トルクで締め付けられていても、冷媒がもれるときは、フレア加工の不具合が考えられます。冷媒回収などによりエアコン内に冷媒が無い状態にし、もれ箇所を修正した後、再接続して真空引きを行い、規定量の新規冷媒を液冷媒で再充填してください。このとき、規定量以外の冷媒は絶対に入れないでください。

10 ガスもれ検査

- R32には、HFC冷媒（R32・R410A・R134aなど）専用のリークディテクターを使用して、配管接続部のリークテストを確実に実施してください。

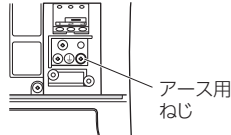


11 アース工事

- 室内ユニットまたは室外ユニットのどちらか一方のアース端子より接地を行ってください。

■ 室内ユニットからアースを行う場合

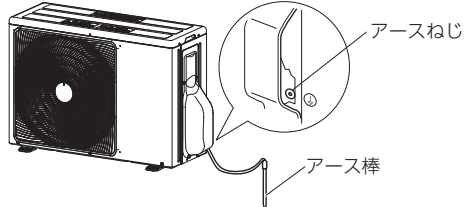
- 端子台カバー内のアース用ねじに接続してください。



※アース線は、同梱されていません。（現地調達：直径1.6mmまたは断面積2mm²以上）
※アース工事を行うときには、電源プラグを抜いた状態で実施してください。
※漏電しゃ断器が動く場合は、衝撃波不動作形の漏電しゃ断器に交換してください。
※漏電警報器が動く場合は漏電警報器の設定を変更してください。

■ 室外ユニットからアースを行う場合

- アース棒（別売品）を使用してください。



■ 接地の基準

このエアコンは、**接地の基準に従ってアース工事**をしてください。
・接地の基準はエアコンの電源電圧および接地場所により異なります。下表により接地工事を行ってください。

エアコン据付場所	接地工事
水気のある場所に据付する場合	漏電しゃ断機を取り付け、さらにD種接地工事が必要です。注④
湿気のある場所に据付する場合	D種接地工事が必要です。注④
乾燥した場所に据付する場合	D種接地工事は、法的には除外されていますが、安全のため接地工事をしてください。注⑤



- 次のようなものにアース線を接続すると危険ですので、絶対に行わないでください。
水道管・ガス管・避雷針・電話線

D種接地工事について（注④）

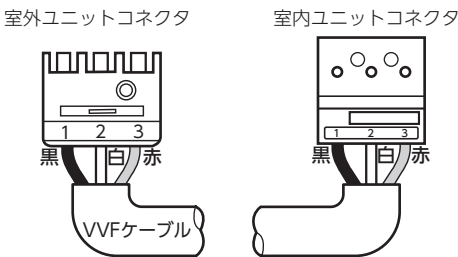
- 接地工事は電気工事士の方が行ってください。
- 接地抵抗は100Ω以下であることを確認してください。ただし漏電しゃ断器を取り付けた場合は500Ω以下であることを確認してください。

乾燥した場所に据付する場合（注⑤）

- 接地抵抗は100Ω以下になるようにしてください。最悪でも250Ω以下であることを確認してください。

12 接続配線の接続（室外ユニット）

- 室内ユニットの配線に合わせて配線します。
 - バルブカバーをサイドキャビネットにねじ3本でしっかり固定します。
- ※皮むき時に芯線の被覆を傷つけないでください。



13 試運転

- ①表面の注意書・包装用シール・テープをすべて外してください。
- ②コンセントに電源プラグを差し込みます。
- ③リモコンの「冷房」または「暖房」を押します。
冷房の場合、リモコンで設定温度を17℃にします。
暖房の場合、リモコンで設定温度を30℃にします。
- ・約3分後に室外ユニットが運転を開始し、冷風（暖房の場合は温風）を吹き出します。

3分間再起動防止タイマーについて

エアコンを起動するときや運転を切り替えたときは、約3分間運転が始まりません。これは本体保護のためで、故障ではありません。

- ④試運転確認終了後、「停止」を押し、運転を停止します。

14 点検

- 据付工事完了後、□の中に✓印を入れて確認し、このチェックシートをお客様にお渡しください。

- ☐ 据付場所は、エアコンの重量に十分に耐え、騒音や振動が増大しない場所です。
- ☐ 電源は専用回路を使用し、電源電圧に問題のないことを確認しました。
- ☐ 電源コードの中間接続や延長コードの使用、タコ足配線は行っていません。
- ☐ コンセントと電源プラグにがたつきはありません。
- ☐ 内外接続線の中間接続は行っていません。
- ☐ アース線の接続は確実に行いました。
- ☐ 壁穴部のシールは確実に行いました。
- ☐ 配管接続部のリークテストを行い、冷媒がもれていないことを確認しました。
- ☐ 配管は断熱材でしっかり覆い、テープでシールしました。
- ☐ 2方弁・3方弁両方の弁棒は全開にしました。
- ☐ 室内ユニットに水を流して、確実に排水されることを確認しました。
- ☐ 試運転を行い、冷房・暖房運転が正常であることを確認しました。
- ☐ かんたん操作ガイドやWeb取説をもとに、お客様に正しい取扱方法と運転方法を説明しました。

確認日： 年 月 日
確認者：
工事(施工)会社名：
問合わせ先 電話番号：